

檜葉町総合グラウンド・斜面ソーラー発電所

竣 工 報 告 書

平成26年12月9日

福島発電株式会社



## 檜葉町総合グラウンド・斜面ソーラー発電所について

避難地域における太陽光発電事業の普及推進のシンボルとして、国道6号や常磐自動車道からの視認性の高い急斜面に建設の太陽光発電所が完成し、運転を開始しました。

### ○事業の趣旨

- ・避難地域における太陽光発電事業の推進に向けた機運を醸成し、推進の広告塔・旗頭となる発電所を建設する。
- ・急傾斜地に安全で長期運用が可能な発電所を建設し、急斜面の有効活用の実践モデルとする。
- ・太陽光発電事業の推進に必要な発電設備の建設・維持管理を行う技術者を養成する研修等に活用する。

### ○発電所の概要

事業主体	福島発電株式会社
場所	双葉郡檜葉町大字大谷鐘突堂地内 <u>町有地</u> (35°の急傾斜地)
設備容量	48kW ・太陽光パネル(250W×192枚)
想定発電量	約55,000kWh/年(一般家庭約15世帯の消費電力に相当)
施工	奥地建産株式会社(本社 大阪府 ※須賀川市に福島工場)



国道6号から撮影



常磐自動車道から撮影

### <工事経過>

着工 平成26年 8月1日  
竣工報告会 平成26年12月9日

### ○今後の取組

避難地域における太陽光事業の広告塔、また、急傾斜地の有効活用モデル、太陽光発電の建設・維持に関する実技研修の場として活用し、地域の再生可能エネルギー拡大と産業振興に貢献していく。

## 竣工写真

「ナラハ」の植栽とともに、国道6号や常磐自動車道からの視認性が非常に高い発電所です。

### ○近影



### ○国道6号からの眺め



### (拡大)



### ○常磐自動車道からの眺め



### (拡大)



# 技術者養成・実技研修

平成26年10月9日、工事中の発電所内で県内技術者の実技研修会を開催しました。

○会場全景



○全体説明



○工法説明



○架台設置



○パネル設置



○配線、機器



# 工事写真

新しい技術を用いて太陽光発電事業による急傾斜地の有効利用を実現しました。

○着工前



○基礎工事



○架台設置工事



○太陽光パネル設置工事



○電気設備工事



○系統連系工事



## 「福島発電株式会社」について

- 福島県内の再生可能エネルギーの導入推進を率先する機関として、県、市町村、民間企業、金融機関が出資して設立。

法人名	福島発電株式会社	所在地	福島市中町5-21
代表者名	東之弘	設立年月日	平成25年5月29日
主な事業	再生可能エネルギーによる発電事業、普及啓発事業 など		

### ○出資者

福島県、東北ソーラーパワー(株)、東邦銀行、福島銀行、大東銀行、郡山信用金庫、須賀川信用金庫、須賀川商工会議所、白河エナジー(株)、会津電力(株)、福島復興ソーラー(株)、郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町



### ○役員

代表取締役社長 東之弘  
 (いわき明星大学 教授、  
 再エネ推進センター センター長)  
 代表取締役副社長 五十嵐 直樹  
 (再エネ推進センター 副センター長)  
 取締役 平山 成治  
 (東北ソーラーパワー(株) 常務取締役)  
 取締役 近藤 貴幸 (福島県企画調整部長)  
 監査役 齋藤 哲 (㈱東邦銀行 法人営業部長)



### ○これまでの主な取組

- ・福島空港メガソーラーの建設・運営 ※平成26年4月オープン  
 (県民参加型ファンドを活用。10カ国30種類のパネル・多様な架台を長期運用。)
- ・福島空港メガソーラーにおける普及啓発活動  
 (事業者等の見学会、小中高生を対象とした体験学習、技術者の実技研修会の開催)
- ・産業技術総合研究所と連携した各種セミナー等の開催やメンテナンス手法等の研究

